

# 母体外因による異常児発生の疫学的研究

## - 偶発合併症 -

福島県立医科大学

班員 福島 努

共同研究者

加藤 敬三・根元 公夫

本田 任

### 1. 研究目的

偶発合併症の妊婦及び胎児へ及ぼす影響は高危険妊娠の一部として重要な問題である。殊に近來の医学の進歩に伴い合併症を有する妊婦が増加するものと考えられ、いきおい、胎児に対する影響も益々考慮されなければならない。この様な観点に立ち偶発合併症と胎児異常に関し臨床的に検討した。

### 2. 研究方法

異常環境分科会にて作製したアンケート用紙に10機関よりの回答708例をもとにして、各々の疾患について分析を行い集計した。

検討集計に当り偶発合併症として種々の疾患又は母体異常が考えられたが、ほとんど胎児に影響を及ぼさないとされたものについてはこれを除外し、また、例数の少ないものも除外して検討した。しかし、胎児自身には直接の影響はなかったものの、その付属物に何らかの影響を与えたものについては外的因子の中に入れて検討した。

### 3. 研究結果

胎児及びその付属物に何らかの異常が認められた母体疾患及び母体異常について母体例より検討した結果を示す。

#### (1) 糖尿病

糖尿病と診断された妊婦34例中、胎児及び付属物に異常を認めたものは表1.の如くである。殊に巨大児の出生が4例あり、その体重は4,830g, 4,800g, 4,520g, 4,200gを示した。またこれとは別に異常に胎盤重量の重いもの3例、即ち1,050g, 910g, 830g, があった。しかし詳細な治療方法、現在の疾患の程度についての記載がなかったためはっきりしたことは言えない

ものの、総じて糖尿病そのもののコントロールが良くなされているものと考えられる。

その他、尿糖(+)を示す148例についても検討を加えたが、巨大児4例、内反足2例、外反足1例が認められた。さらに糖尿病及び尿糖陽性群にそれぞれ、血管腫、停留睾丸が各々1例あり、何らかの関連性を示しているかもしれない。

#### (2) 心疾患

母体心疾患を示す32例については表2.に示す如くである。

注目に値するのは動脈管開存2例のいずれもが、動脈管開存及び心室中隔欠損という先天性心疾患を有する児を出生していることである。それは心房中隔欠損を有する妊婦の1例が合指症を含む多指症児を娩出していることから先天性心疾患を有する妊婦は先天異常児を出産する可能性があるのかもしれない。その他後天性心疾患を有する妊婦からは先天異常児の出生を認めていない。

#### (3) てんかん等その他の合併症

てんかんを合併する妊婦18例については表3.に示す様な胎児異常があった。これらの妊婦はどの程度でてんかんであるのか、妊娠中に何らかの薬剤を服用していたのか否か明きらかではない。いづれにしてもかなり高頻度で胎児異常が現れることが予想される。

血液疾患は17例あり、そのうち10例はITPであり4例に再生不良性貧血を認めた。ITPのうち1例がITPを示し、口唇皮下出血を示すもの1例があった。また再生不良性貧血は副脾を持つものが1例出現した。

慢性腎炎を合併する妊婦18例については4例の異常を認めたが概して發育障害を示すことが特徴的であった。

甲状腺機能亢進症24例については特異的な胎児異常

はなかった。近来問題とされている肝炎及びHB<sub>s</sub>抗原陽性例には死産3例が記録された。またトキソプラズマ症の8例やSLE・7例はともに胎児異常がなかった。

#### 4. 考案および要約

近時、High risk pregnancy として母体偶発合併症は母体は勿論、胎児へ与える影響が大なるため各方面から検討されている。今回の集計では当初より

予想された通り糖尿病合併妊婦、及び先天性心疾患を有する妊婦が種々の問題を提起したと思われた。先天性心疾患殊に動脈管開存を有する妊婦よりいづれも先天性心疾患を有する児を娩出したことは特筆に値する。その一方で胎児への影響が心配されたトキソプラズマ症、甲状腺機能亢進症に於ては胎児異常が見い出されなかった。しかしいづれの合併症にしても例数が少ないため統計的処理をしても無意味であり、さらに例数を重ねて報告したい。

表 1. 糖 尿 病 (34 例)

停 留 率 丸	1
血 管 腫	1
胎 盤 重 量 異 常 (1050, 910, 830)	3
け い れ ん (低血糖)	2
巨 大 児 (4830, 4800, 4520, 4200)	4
左 手 弛 緩	1
低 Ca 血 症	1
S, F D	1

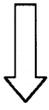
各々、治療方法及び現在の病状は不明

表 2. 心 疾 患 (32 例)

動脈管開存 2 例	———	第 1 児に動脈管開存 1 例	1 例
		心室中隔欠損	1 例
心房中隔欠損 3 例	———	多指症 (合指症)	1 例
心室中隔欠損 3 例	———	異常なし	
NYHA I度 10 例	}	異常なし	
II度 2 例			
III度 1 例			
WPW 2 例	弁膜症 3 例	A-V Block 1 例	
発作性頻拍症 1 例	心房性頻脈 1 例	その他 異常なし	

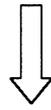
表3. その他の合併症

てんかん 18例	上室性期外収縮 1例 心奇形の疑 1例 口唇裂 1例 S F D 1例
血液疾患 17例 { I T P 10例 Aplastic Anemia 4例 その他 3例	I T P 1例 口唇皮下出血 1例 新生児死亡 1例 Accessory Spleen 1例
慢性腎炎 18例	副耳 1例 死産 1例 I U G R 1例 人工妊娠中絶 1例
甲状腺機能亢進症 24例	副耳 1例 睾丸停留 1例
肝炎・HBs抗原陽性 33例	死産 3例 内反足 1例
トキソプラズマ症 8例	異常なし
T P H A ( + ) 10例	先天梅毒の疑 1例



## 検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用

論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



### 1. 研究目的

偶発合併症の妊婦及び胎児へ及ぼす影響は高危険妊娠の一部として重要な問題である。殊に近来の医学の進歩に伴い合併症を有する妊婦が増加するものと考えられ、いきおい、胎児に対する影響も益々考慮されなければならない。この様な観点に立ち偶発合併症と胎児異常に関し臨床的に検討した。